

魔王様

ネガ
イ
ゴ
ト

R-18

{ for
Adult Only }

ボロ...

星ノ塔 最深部

ようやく
たどりついた...

ハア...

「持ち主の願いを叶える神器」
があると噂されていた
この星ノ塔だが

苦勞の末ようやく
たどり着いた...

あらゆる願いを
叶えてくれる
らしいが

ドキ

ドキ

パカ

いったい
どんな神器なのだろうか...





私が今いるベッド以外は
何もない...
いや、壁に何か書いてある!

組屋は心部家明屋

ここは...部屋か?
先程まで私は
星の塔にいたはずだが...

絶頂しないと出られない奇屋

……「絶頂しないと
出られない部屋」？

絶頂……
絶頂という……

はああああ!!

バン

な、何を言っているんだ
これは!?!?
できるわけないだろ
そんなこと!!

こんなよくわからない
場所でそんなこと……
絶対にダメだ!

と、とにかくこの部屋から
出る別の方法を探そう……!



二時間後

出られない……

ず

ん

ハアッ



色々試したがダメだった
まずいな……このままでは
この部屋で餓死してしまう

やはり指示に従って
えっ……かなことを
するしかないのか?
いやだがしかし
それはやはりいろいろと問題が





いやいや、違う…
これは違うぞ？

これはあくまで部屋から
出るために
仕方なく行うのであって

決して私がしたいとか
そういうのではないから！
不可抗力…そう、
これは不可抗力だ…！

……気持ちいい

んっ

いっ

くっ…どうしてっ、
私がつ、こんな目に…

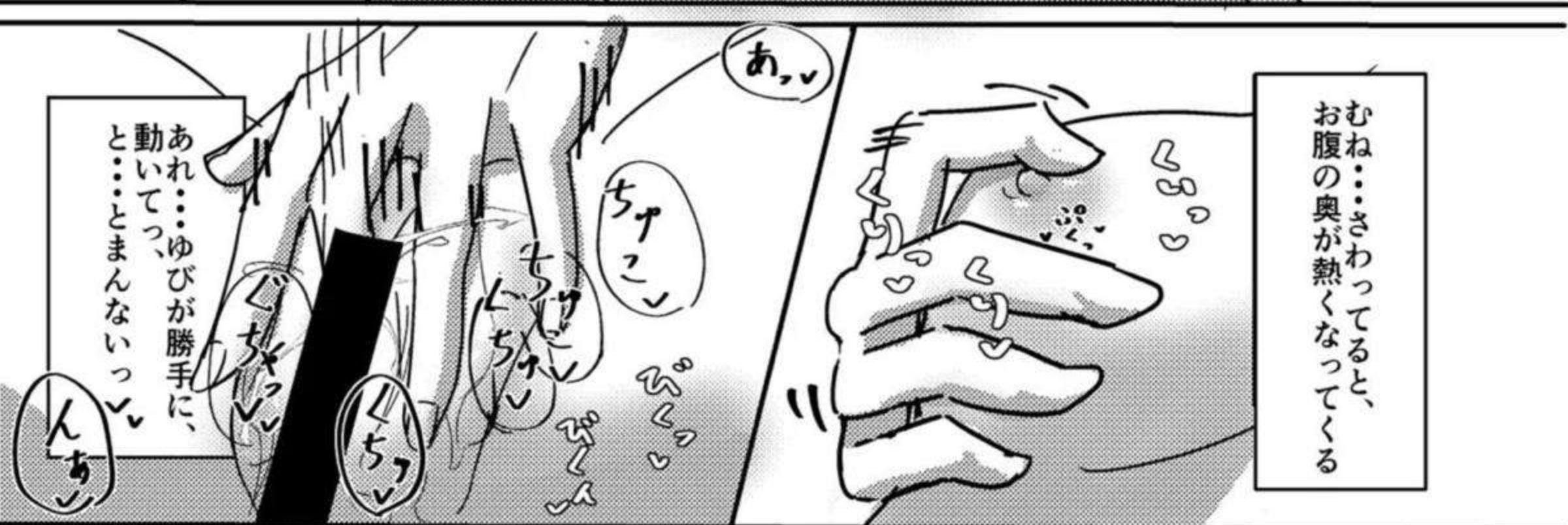
こんなっ、こと…
はやく終わらせない、と…



むね…さわってると、
お腹の奥が熱くなってくる

あ、っ

あれ…ゆびが勝手に、
動いてっ、
と…とまんないっ



あたまがぼろっとする
ぬるぬるしてて、
へんな気持ちっ

おくん…
じんじんっして…
へんにっ…あっ





……いつ、いつてしまった……
こんなはたしない姿で……
でもこれで外に出られるはず！

やっだん
なんかさちうん

むん

イッーイッー

ズン

ポッ

ジッ……

とても気持ちよさそう
だったじゃないか

だっ、誰だ！？

ド

ぬ？そうだな・・・
確かに「ワタシ」は私——つまりキミだ
そして同時に、
この部屋の主でもある
実体のないワタシは、私の魂を
トレースすることで身体、記憶を模倣し
こうして実在する存在として
会話することができている

私がっ・・・もう一人!?

ノ!!

私は星ノ塔で得た神器を手に
「気持ちよくなりたいたい」と
願っただろう？

この部屋は
私のその願いを
叶えるために
ワタシが創造したものだ

でもさっき調べた時は
誰もいなかった!
どこにいたんだ!?

ギャイ

ギャイ

いつからって・・・

ビィ!

ベッドの下で最初から

はあああああ!?

じゃあさっきの私も
全部見られて・・・!
いや、
今はこの部屋のことだ

まさかあれが本当に
神器だったとはな
・・・というか

ムッ...

ちよつとまで
私は指示された条件を
満たし願いを叶えた
なのになぜ解放されない？

ぬ？
確かに願いを叶えたら
この部屋は消える
はずなんだが…

でも願いの成就が
部屋を出る唯一の
条件であることは絶対だ
だからー

よくわからん☆

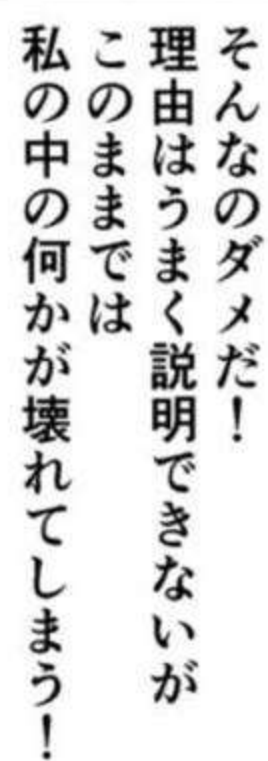
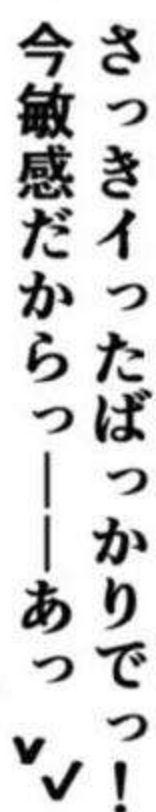
コイツ…！

ふふ…
わかっていくくせに

な…なににする気…
きやつ！

安心するといい
「ワタシ」が「私」の絶頂を
サポートしてあげよう♡

やつ…
ちよつと待ってー





ふふっ…カンパニーの代表で魔王の名をもつ私がこんなにかわいい嬌声で鳴くなんてね他の子たちが知ったらどう思うだろうか？

まだ部屋は消えないしワタシも興が乗ってきた

まって

もう…
むり…

あー

くぱっ

もっとワタシに私のかわいい姿を見せてくれ！

私はココが弱いんだらう？

それっ…
やだあっ！

はああ

なにもっ…
考えられない

あたま…
まっしろになって



だめっ...
もうっ... むりっ

あー

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

あ

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

—その後も
私は何度も
ワタシにイカされ続けた



何度も何度も何度も

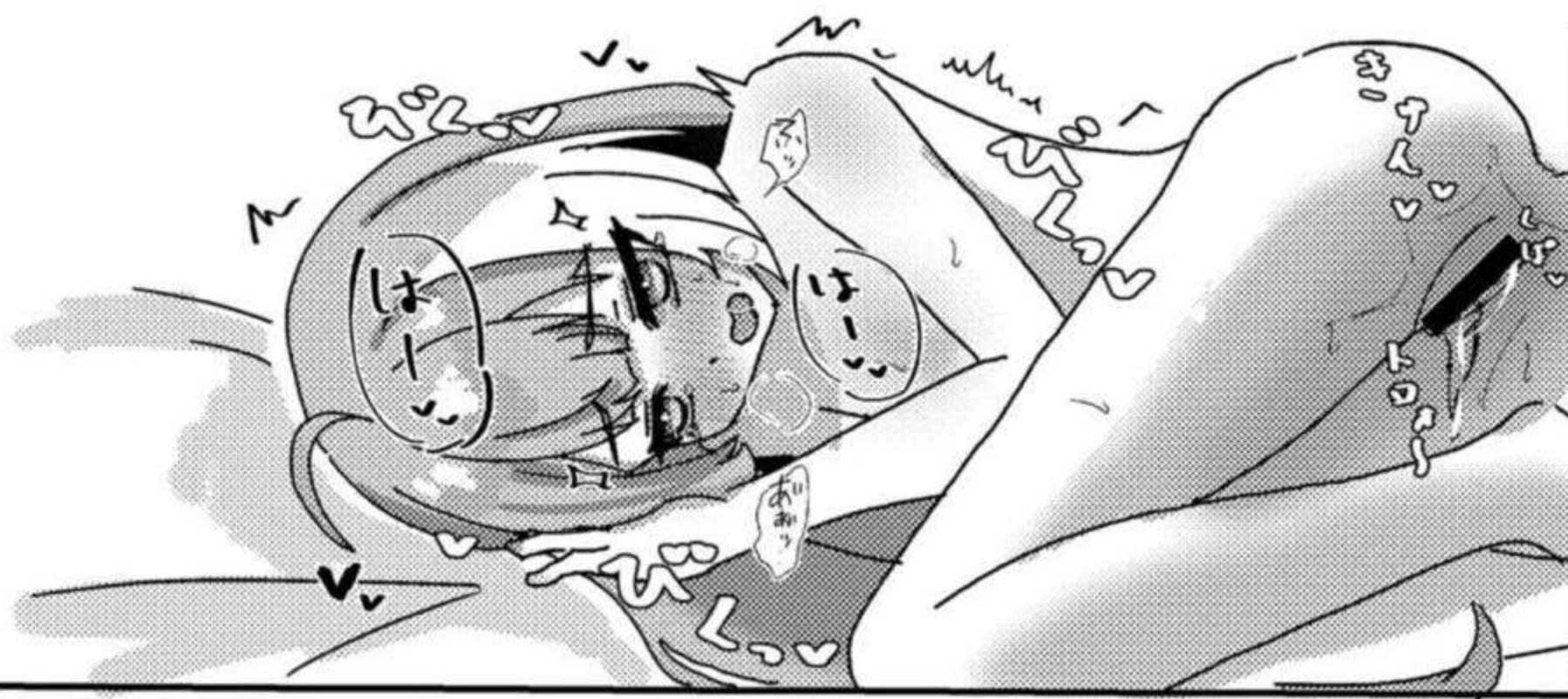
またいった
どうやら私は
相当感度がいいらしい



勝手に腰が動いてる
そんなにココが
好きなのかい？

私は抗うこともできず
ただ快感の濁流に
のまれるしかなかった





お…おかしい…
もう何度も絶頂してるのに
部屋が消えない…！
なにかを見落としているのか？
いったい何を？



—そうか！

ぬ？そうだな…
確かに「ワタシ」は私—つまりキミだ
そして同時に、
この部屋の主でもある
実体のないワタシは、私の魂を
トレースすることで身体、記憶を模倣し
こうして実在する存在として
会話することができている



だったら…！

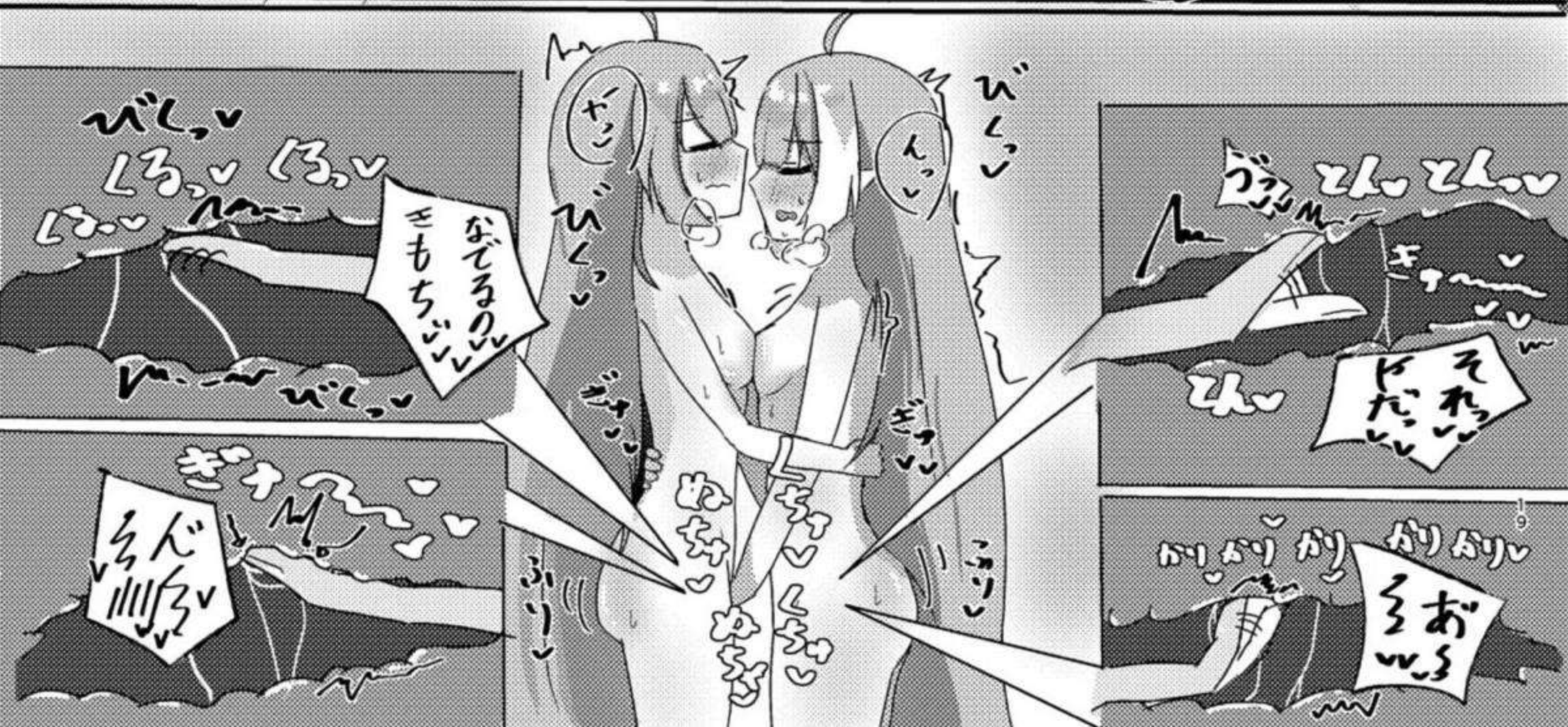
おかしいな…
何度もイってるのに
部屋が消えないなんて…



この方法なら
いけるかもしれない！

もっと激しくしないと
ダメなのか？

ムクッ









も…
戻ってこられたのか？

どうやら魔王の仮説は
正しかったようだ

願いは果たされ、
部屋は消滅した



実に新鮮で愉快的な体験だった
また「気持ちよく」なりたければ
いつでも神器を使って願うといい

…
いや服を返せ

☆おわり

魔王様のネガイゴト
発行日：2025.12.31
原作：「ステラソラ」

著者：ななつし
発行：ななししーつ
連絡先：nanatsushiinfo@gmail.com
印刷所：オレンジ工房 様

Xアカウント:@nanatsushiya

※この本は、ファンが個人的に制作した
非公式の同人誌です。
原作者様および公式関係者様とは
一切関係ありません。
※この本は成人向けです。
18歳未満の方の購入・閲覧は
お断りします。
※無断転載、複写、複製、配布などの行為
を固く禁じます。

